

# おくすりの名前

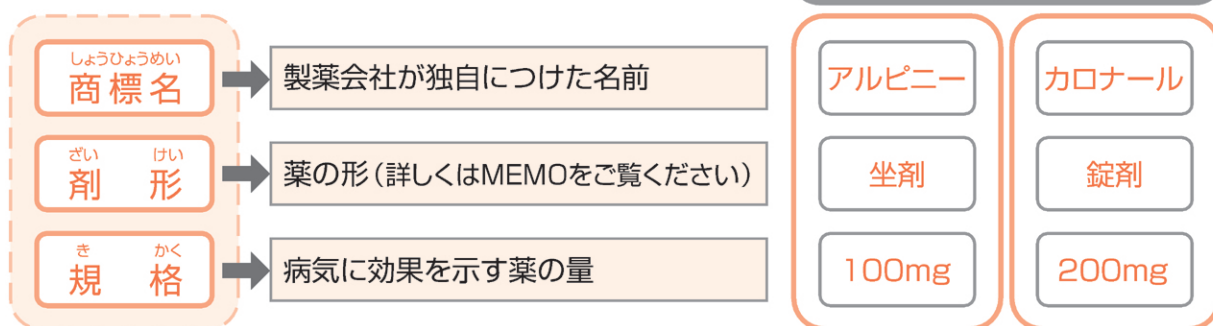
使っている薬の名前を医師や薬剤師に正確に伝えることは、薬を安全に安心して使うことにつながります。



しかし、薬の名前はカタカナが多く、覚えるのはなかなか難しいことです。

おくすり手帳やおくすりの説明書を上手に活用すると正確に伝えることができます！

## ● 薬の名前は3つの要素で構成されています。



この3つの要素が1つでもわからないと、正確な薬の名前を伝えることができません。

## ● 例えば



100mgの坐薬を使ってもよいですか？



→アンヒバ坐剤小児用100mgもユニプロン坐剤100mgも同じ100mgの坐薬ですが、体重あたりに使用する薬の量が違うため、量の確認ができません。また、薬の成分が違うため相互作用などを確認することができません。



カロナールという名前の錠剤をのんだことがあります。



→カロナールの錠剤には、規格が200mg,300mgの2種類あり、薬の量が違うため、体重や症状にあった薬の量になっているかどうかなどを確認することができません。

MEMO

## 剤形の種類いろいろ



錠  
(錠剤)



カプセル  
(カプセル剤)



散(散剤)  
ドライシロップ  
(略して「DS」と  
書くことがあります)



坐剤



軟膏



点眼剤  
点耳剤